

非正規社員の正社員化を求める 全国キャラバンニュース

2010年6月9日

第10号

郵政産業労働組合

TEL 03-5974-0816

FAX 03-5974-0861

<http://www.yusanro.or.jp>

正社員化を求め福島・郡山を駆け巡る！

<福島キャラバン>



明治5年に開局した福島中央郵便局



均等待遇実現に向け訴える小川議長

「正規雇用があたりまえの社会」の実現を求めた福島キャラバンは6月9日、福島県内で最も古い明治5年3月に開局された福島中央郵便局前宣伝を皮切りに開催されました。通行人もまばらな早朝宣伝行動には、福島県労連の小川議長をはじめ、野木事務局長、医労連の高橋書記長らが駆け付け、郵産労本部の日巻書記長が参加して行なわれました。

出勤する労働者の多くは、局前にはられた横断幕、のぼり旗を掲げての宣伝行動に関心を示しながらビラを受け取り「ご苦労さま」の声をかけていくなど、非正規社員の正社員化が職場での関心ごとであることが感じられる宣伝となりました。

小川議長は、日本共産党大門参議院議員の国会質問を紹介しながら「正規雇用があたりまえの社会をつくろう」と力強く訴えました。

ビラを受け取った利用者から、「今回の見直しで郵便局はどうなるのか」との質問が寄せられるなど、郵政問題の関心の高さが感じられました。

福島市内から県労連の宣伝カーで1時間ほど移動して行なわれた郡山郵便局前宣伝には自治労連・郡山市職労、さらに解雇問題で裁判をたたかっているJMIUのみなさんが支援に駆けつけ、信号待ちをしている車にも声をかけビラを渡すなど元気のでる宣伝となりました。

宣伝行動を“監視”しにきた郡山郵便局社員も数名いましたが、郡山郵便局には約1000人の社員が働いていること、正社員化への期待が広がっていることなどが語れるなど、非正規労働者の思いに触れる宣伝となりました。

福島キャラバンは郡山南郵便局周辺を宣伝カーで流しながら地域のみなさんにも運動への理解と協力を要請し、小川議長から「この運動を通じて郵産労の仲間を福島県内で増やしてほしい」との激励をうけ、キャラバンを終えました。